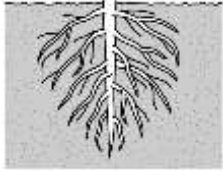
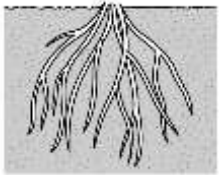



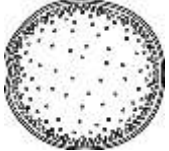
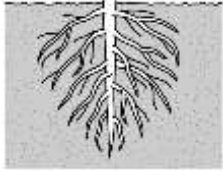
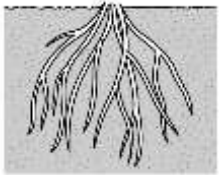



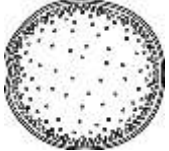
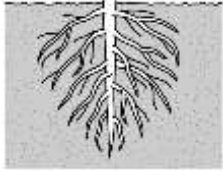
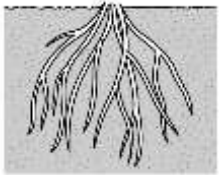



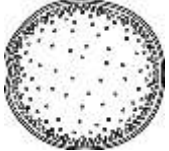


解答プリント「中学1年理科・第2分野」

■補充プリント

単元:7 植物のなかま

【評価の観点】 ㊦：思考・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説															
<p>1 ㊦ (1)A 単子葉 (類) B 双子葉 (類)</p> <p>㊦ (2) 茎の断面 : D, 根 : F</p> <p>㊦ (3) イ</p> <p>㊦ (4) 合弁花 (類), 離弁花 (類)</p>	<p>1 (1)(2)</p> <table border="1" data-bbox="743 389 1465 1209"> <thead> <tr> <th></th> <th>双子葉類の特徴</th> <th>単子葉類の特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子葉</td> <td>2 枚</td> <td>1 枚</td> </tr> <tr> <td>根</td> <td>主根と側根 </td> <td>ひげ根 </td> </tr> <tr> <td>葉脈</td> <td>網状脈 (網目状) </td> <td>平行脈 (平行) </td> </tr> <tr> <td>維管束</td> <td>輪のように並んでいる </td> <td>散らばっている </td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)(4) 双子葉類は、花弁がつながっている合弁花類と、1枚ずつが離れている離弁花類に分けられる。</p>		双子葉類の特徴	単子葉類の特徴	子葉	2 枚	1 枚	根	主根と側根 	ひげ根 	葉脈	網状脈 (網目状) 	平行脈 (平行) 	維管束	輪のように並んでいる 	散らばっている 
	双子葉類の特徴	単子葉類の特徴														
子葉	2 枚	1 枚														
根	主根と側根 	ひげ根 														
葉脈	網状脈 (網目状) 	平行脈 (平行) 														
維管束	輪のように並んでいる 	散らばっている 														
<p>2 ㊦ (1)① 胞子のう</p> <p>㊦ ② エ</p> <p>㊦ ③ イ</p> <p>㊦ (2)① 胞子</p> <p>㊦ ② B</p> <p>㊦ ③ 雌株</p>	<p>2 (1)①② シダ植物は花が咲かず、種子はできない。葉の裏側にある茶色のかたまりは胞子のうで、この中に胞子ができ、地上に落ちた胞子から発芽してふえる。</p> <p>③</p> <p>アのソテツ 裸子植物 ウのツツジ 被子植物 エのナズナ 被子植物</p> <p>イのスギナはシダ植物である。つくしは胞子をつくるための胞子茎である。</p> <p>(2) ゼニゴケはコケ植物で、種子をつくらず胞子でふえる。ゼニゴケには胞子ができる胞子のうをもつ雌株 (B) と、もたない雄株 (A) がある。</p>															